阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	1	基本事業事業名	阿波市立図書館指定管理に伴う連絡調整事務		事務事業名	阿波市立図書館指定管理に伴う連絡調整事務		公的関与	7	シート作成日	令和3年6月17日		
	部局名	教育委員会			課名	社会教育課		主務課長名	伊坂 典恭		シート作成者名	村尾 茉優			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成 19 年 ~		令和 年		☒ 期間設定なし	
		主要施策		(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		指定管理者											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	民間企業のノウハウを活用しながら、本市の生涯学習施設の拠点として、市民サービスの向上と効率的かつ効果的な施設の運営管理を図ります。										
				今年度	図書館指定管理者と連携しながら、計画的な設備等の更新を進めます。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 指定管理者が円滑に図書館運営ができるように、連絡調整事務などを行います。														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標					
	入館者数	住民ニーズの指標として		人	目標	185,000	185,000	185,000	185,000						
					実績	128,043	119,330								
	貸出冊数	住民ニーズの指標として		冊	目標	300,000	300,000	300,000	300,000						
					実績	234,512	240,070								
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	5	図書館管理費	
	直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考								
		国庫支出金	千円		千円	千円									
		県支出金	千円		千円	千円									
		地方債	千円		千円	千円									
		その他特定財源	千円		千円	千円									
		一般財源	84,133 千円		90,286 千円	91,591 千円									
	計(A)	84,133 千円		90,286 千円	91,591 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	1,811 千円	0.500 人	3,059 千円	0.500 人	3,044 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		85,944 千円		93,345 千円	94,635 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	指定管理者による運営により、直営の時と比べて、入館者数・利用者数は増えています。	☐	少ない	☒	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえ	☒	い	指定管理者が円滑に業務を進めていくためには、市との連携強化が必要不可欠です。	☐	いえ	☒	い				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえ	☒	い		☐	いえ	☒	い				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	前年度に比べてみると、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、休館したことがあり、入館者数・貸出冊数は減少していますが、多くの方に利用されています。	☐	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒	あまり上がっていない		☒	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐	概ね達成している		☐	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☐	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	指定管理委託料の範囲内で、効率的かつ創意工夫された図書館運営ができています。	☐	高い	☒	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等				
	当面の課題	貸出者数・貸出冊数が少しずつ減少していることが課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	指定管理者が貸出者数等を増やすために、様々な取組をしているため、引き続き支援を行って行きます。					指定管理者による現在の運営計画は、適切に行われています。指定管理者の管理運営に対する評価を適正に行い、人口減少の中での利用者数等の増加に向け、改善点を共に考え、助言や支援に努めます。							
委員会指摘事項														

PLAN	No.	34	—	2	基本事務事業名	図書選定事務	事務事業名	図書選定事務	公的関与	7	シート作成日	令和3年6月17日			
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課		主務課長名	伊坂 典恭		シート作成者名	村尾 茉優				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成 19 年 ~		令和 年 ☒ 期間設定なし			
		主要施策		(2)生涯学習関連施設の整備充実・機能強化				☐ 2 非該当		根拠法令等		阿波市立図書館図書選定委員会に関する規則			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民											
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	図書館が所蔵する資料を充実させることにより、市民の生涯学習活動を支援します。										
				今年度	利用者のニーズを的確に把握しながら、図書館で定めた選書基準に基づいて図書館資料を収集します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 購入希望の図書館資料が適切であるか、市が設置する図書選定委員会で審査します。														
	② 各図書館の特色を生かしながら、市全体として偏りのない蔵書構成を目指します。														
	③ 図書館が除籍を希望する資料についても、事前に図書選定委員会で審査します。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標					
	蔵書資料		市民サービスの指標として		点	目標	315,000	330,000	330,000	330,000					
						実績	321,286	323,224							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	5	図書館管理費
			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	180 千円		180 千円		180 千円								
		計(A)	180 千円		180 千円		180 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	1,811 千円		0.300 人	1,835 千円		0.300 人	1,827 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,991 千円		2,015 千円		2,007 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	市が設置する図書選定委員会で審査し、偏りのない蔵書構成に努めています。	☐	少ない	☒	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	指定管理者が購入予定する新刊図書について、事前審査を行うことにより、全体的に偏りのない蔵書とすることができます。	☐	いえない	☒	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	各図書館の特色を生かしながら、市全体として偏りのない蔵書構成に努めています。	☐	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐	概ね達成している		☐	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒	十分達成している		☒	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	円滑に選定作業ができています。	☐	高い	☒	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等			
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止				
当面の課題	限られた資料購入予算の中で、各図書館の蔵書構成に配慮できるかが課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	引き続き、月1回実施している図書選定委員会で審査をし、全体でバランスの取れた蔵書構成となるようにします。					利用者のニーズやバランスに考慮し、満足度がより一層向上するような選定に努め、利用率の向上を図ります。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	基本事務事業名	人権教育・啓発事業	事務事業名	人権教育・啓発事業	公的関与	4	シート作成日	令和3年6月17日		
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課	主務課長名	伊坂 典恭		シート作成者名	村尾 茉優		
	事業区分	☒ 1 ソフト事業	☐ 3 経常的事務事業	☐ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☒ 1 直営	☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業	☐ 4 施設の維持管理	☐ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共につくる阿波			実施計画	事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(1)人権尊重社会の確立			☒ 1 該当	平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策	(2)あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進			☐ 2 非該当	根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民及び市内に勤務する企業職域社員									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	市民から様々な差別意識をなくします。								
			今年度	様々な人権問題について、より深く学習・交流する場を提供し、人権意識の高揚を図ります。								
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 市内全域において、人権講座「心のリフォーム学級」を開催し、人権問題を学び市民の差別意識をなくします。											
	② 人権フェスティバルを開設し、様々な人権テーマについて交流・学習をします。											
	③ 阿波市児童生徒作品集を全戸配布し、市民の人権意識の高揚を図ります。											
	④ 市内の事業所における人権問題研修会を開催し、さらなる人権意識の高揚を図ります。											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標				
	人権講座 (心のリフォーム学級)	婦人会・老人会・教職員などへ 広報啓発し、2会場で行いま す。	回	目標	16	8	8	8				
				実績	16	6						
	企業職域人権研修会	研修へ参加する企業数の 増加を図ります。	回	目標	4	4	4	5				
				実績	1	0						
				目標								
			実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 人権教育費		
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考						
		国庫支出金	千円	千円	千円	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったものもあり、補助金は一部返還となりました。						
		県支出金	千円	千円	千円							
		地方債	千円	千円	千円							
		その他特定財源	千円	千円	千円							
		一般財源	6,289 千円	2,737 千円	6,729 千円							
	計(A)	6,289 千円	2,737 千円	6,729 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,509 千円	0.250 人	1,529 千円	0.250 人	1,522 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		7,798 千円	4,266 千円	8,251 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	部落問題についての差別意識が強く残っている現実があり、各種研修会などの学習機会を提供し、正しい人権教育を推進しなければなりません。明るいまちづくりのためにも、行政が人権教育をより一層推進する必要があります。	☐	少ない	☒	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	差別意識をなくすため、継続的・計画的な事業を実施し、さまざまな学習機会を提供することが必要です。	☐	いえない	☒	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	学習機会の提供については、研修内容(回数・時間・研修密度)を精査しながら行います。	☐	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☐	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☒	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	人権問題をより理解していただくためには、講演会・学習会などへの講師及び教材が必要です。知名度のある講師・実践力の高い講師を依頼するにはコストが高くなるため、検討が必要です。	☐	高い	☒	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等			
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止				
当面の課題	市民に今起きている人権問題をより理解してもらうために「心のリフォーム学級」を開催していますが、例年通り参加者の固定化が課題となっています。多くの市民対象の研修会参加・または企業職域社員数の増加が図れるよう取り組む必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	学習機会の場を増やし、誰でも参加ができる講座を改善していく必要があると考えます。推進体制(事務局)をより強固にし、人権意識の向上に努めます。					多くの参加者が得られるよう、他部局との連携や研修内容の充実などに努め、人権意識の向上に向けた取り組みを引き続き進めます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	基本事務事業名	人権教育推進協議会事務	事務事業名	人権教育推進協議会事務	公的関与	4	シート作成日	令和3年6月17日				
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課		主務課長名	伊坂 典恭		シート作成者名	村尾 茉優			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立			☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2)あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進			☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内の各団体の連絡・連携強化し、調査研究・資料の収集及び配布・研究会・講演会・講習会などの開催及び参加											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市内のあらゆる差別の撤廃を目的とします。										
			今年度	人権教育の正しい理解と実践について研究協議し、その推進を図ります。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 吉野川安定所管内人権啓発企業連絡会の開催など参加します。													
	② 各種人権問題講演会及び研修会に参加し、調査研究をします。													
	③ 市内で人権フェスティバルを開催し、人権意識の高揚を図ります。													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標				
	市職員・教職員の各種研修大会		県内外の研究大会に参加し研修します。		回	目標	5	5	5	5				
						実績	5	0	0					
	人権フェスティバル		市民を中心とした人権啓発を対象とし、講演会を開催します。		回	目標	1	1	1	1				
						実績	1	0	0					
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	人権教育費
			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。			
		県支出金			千円			千円						
		地方債			千円			千円						
		その他特定財源			千円			千円						
		一般財源	2,100		千円	570		千円	2,100		千円			
		計(A)	2,100		千円	570		千円	2,100		千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250	人	1,509	千円	0.250	人	1,529	千円	0.250	人	1,522	千円
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
	全体事業費(A+B)		3,609		千円	2,099		千円	3,622		千円			

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価									
K C M I C	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	市民の様々な人権に対する意識の改革については、行政が中心となる必要があります。		☐ 少ない	☒ 大きい								
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある			☐ ない	☒ ある								
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない								
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない			☐ いる	☒ いない								
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	市民の意識改革については、継続した事業実施の必要があります。		☐ いえない	☒ いえる								
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる			☐ いえない	☒ いえる								
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない			☐ する	☒ しない								
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる			☐ できない	☒ できる								
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	町単位で意識のばらつきがあるので、市内全域での継続的な事業を実施する必要があります。		☐ 目標に比べて劣っている										
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない			☐ あまり上がっていない										
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☒ 概ね達成している			☐ 概ね達成している										
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☐ 十分達成している			☒ 十分達成している										
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	市民の意識改革なので、人対人の関わりの中で、地道に行っていく必要があります。		☐ 高い	☒ 適当								
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない			☐ できる	☒ できない								
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない								
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない								
A C T I O N	一次評価										二次評価									
	評価点	必要性		有効性		達成度		効率性		総合評価		必要性	有効性		達成度		効率性		総合評価	
		4		4		3		4		A		4	4		4		4		A	
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持		☐ 方法改善		☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実		☒ 現状維持		☐ 方法改善		☐ 民間委託等				
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止				☐ 縮小		☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止						
	当面の課題	講演会・研修会では、参加者が固定化になり若年層の参加は、少ない状況であるため、研修内容の検討が必要です。										二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	老人会・婦人会・各幼・小・中・人権擁護委員・民生児童委員等と連携強化し、参加者を増やします。また、広報誌・ケーブルテレビに掲載するなど工夫して参加者の増と、固定化を防ぐよう啓発に努めます。										参加者が固定化しないよう、また、各種団体との連携や広報などの工夫により参加者の増に努めるとともに、事業内容等について協議検討しながら進めます。									
委員会指摘事項																				

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	基本事務事業名	学力向上活動	事務事業名	学力向上活動	公的関与	4	シート作成日	令和3年6月17日			
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課	主務課長名	伊坂 典恭		シート作成者名	村尾 茉優			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業	☐ 3 経常的事務事業	☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営	☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業	☐ 4 施設の維持管理	☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託	☒ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共につくる阿波			実施計画	事業の開始・終了						
		基本計画(施策)	(1) 人権尊重社会の確立			☒ 1 該当	平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし	
		主要施策	(2) あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進			☐ 2 非該当	根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	八幡小学校・柿原小学校・一条小学校・吉野中学校の児童生徒、各校保護者対象										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	人権教育を中心に捉えた教育活動の中で、人権尊重の精神を育成し、基礎学力の定着や子ども会活動による連帯感を養うことを目的とします。									
			今年度	人権活動に講師・指導員が熱意を持って指導にあたり連帯を養います。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 教科学習(宿題・指導員が作成した教材)を用いて学習の補充支援をし、家庭学習への定着を目指します。												
	② 子ども会活動では、行事を通して友達との交流を深め、また家族や地域の人達との交流を深めます。												
	③ 保護者会・人権学習会の開催をします。また、子どもの学力・態度等については連絡ノートを活用し、情報交換をしています。												
	④ 学期毎1回、吉野地区・八幡地区において保護者会を開催します。児童・生徒または保護者に対して人権学習・啓発を行います。												
	⑤ 人権学習(生徒向けの講演会を開催し、人権学習をします。)												
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標				
	学力向上(指導)		小学生・中学生対象とし、開催します。	回	目標	50	50	50	50				
					実績	50	50						
	人権学習		毎月1回、開催します。	回	目標	15	15	15	15				
					実績	15	2						
	子ども会活動		土・日曜日 長期休日 年間10回指導します。	回	目標	10	10	12	12				
実績					10	1							
DO	予算費目	会計	一般会計		款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	人権教育費
	直接事業費	令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		備考					
		国庫支出金	千円		千円		千円		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったものもあり、補助金は一部返還となりました。				
		県支出金	千円		千円		千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	650 千円		375 千円		650 千円						
	計(A)	650 千円		375 千円		650 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,208 千円	0.200 人	1,224 千円	0.200 人	1,218 千円					
		臨時・嘱託職種	学力向上専任指導員		学力向上専任指導員		学力向上専任指導員						
臨時・嘱託工数・経費		3.000 人	6,192 千円	3.000 人	6,261 千円	3.000 人	6,518 千円						
全体事業費(A+B)		8,050 千円		7,859 千円		8,386 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	地元の子どもの基礎学力の定着・人権学習と共に行う場として保護者の要望がある限り行政が携わり継続していく必要があります。	☐	少ない	☒	大きい	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	3名の指導員が事業に係り学習指導を熱心に実施しています。学校とは違う環境の中で仲間と共に勉強・経験をすることで家庭学習の定着や仲間づくりの場として必要であり有効です。	☐	いえない	☒	いえる	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	人と係るのが苦手・友だちとの協調性がとれない子どももいましたが、時間がたつにつれて打ち解け合い、良好な関係が築けています。今後も継続しながら指導していく必要があります。	☐	目標に比べて劣っている					
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない					
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☐	概ね達成している					
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☒	十分達成している					
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	学力の向上・人権意識の向上は、積み重ねていくものであります。今後も手段を選びながら継続していく必要があります。	☐	高い	☒	適当	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない	
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	子ども会活動においては、中学生からの参加が少ない状況です。保護者会においても全会場で、参加・関わりが少ないのが課題となっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	今後も学力支援事業を継続し、地元住民・保護者同士の関わりを密にし、人権をより深く学べるようにします。					中学生のニーズがあまりにもない状況ですが、この事業は継続していくことが大切です。子供や保護者の要望を把握しながら、参加が進むよう工夫を凝らし、目標達成に努めます。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	—	6	基本事務事業名	教育集会所管理運営事業	事務事業名	教育集会所管理運営事業	公的関与	4	シート作成日	令和3年6月17日			
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課		主務課長名	伊坂 典恭		シート作成者名	村尾 茉優				
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 人権尊重社会の確立				☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2) あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民対象とし、多くの学習機会の場(いつでも・誰でも気軽に参加できる学習の場)として阿波市内にあります。											
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	教育集会所(建物・備品)の老朽化が進んでいる為、耐用年数を経過している教育集会所から閉館・解体します。											
			今年度	継続的に依頼している教育集会所の管理者と検討する必要があります。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 吉野中央教育集会所は、吉野中学校が管理しています。														
	② 市場町1館・阿波町1館の教育集会所は、数年前から使用しておらず閉館しています。														
	③ 吉野町の集会所については、「教育集会所」としての使用はなく、主に一般的な集会所として地元住民に使用されています。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標					
	使用回数		数値目標の設定が難しい		回	目標				/					
						実績				/					
						目標				/					
						実績				/					
						目標				/					
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	人権教育費	
	直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考								
		国庫支出金		千円	千円	千円									
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		千円	千円	千円									
		一般財源		2,445 千円	1,555 千円	1,523 千円									
		計(A)		2,445 千円	1,555 千円	1,523 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.200 人	1,208 千円	0.200 人	1,224 千円	0.200 人	1,218 千円						
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		3,653 千円		2,779 千円		2,741 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☒	少ない	☐	大きい	子どもの学習場所がない時代に建設された施設であり、教育集会所としての役目は終えていると考えられます。	☒	少ない	☐	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☒	ない	☐	ある		☒	ない	☐	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒	ある	☐	ない		☒	ある	☐	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☒	いる	☐	いない		☒	いる	☐	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☒	いえない	☐	いえる	西姥御前教育集会所などは、多少使用していますがその他については、教育集会所としての使用頻度は低いと考えられます。	☒	いえない	☐	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☒	いえない	☐	いえる		☒	いえない	☐	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☒	する	☐	しない		☒	する	☐	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☒	できない	☐	できる		☒	できない	☐	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	西姥御前教育集会所などは、多少使用していますがその他については、教育集会所としての使用はほとんどありません。	☐	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☒	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☐	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	市民の教育に関する考えが昔と異なり、家庭での学習・塾に通っての学習がほとんどです。教育集会所としての役目はほとんど終えたと考えられます。	☐	高い	☒	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒	ある	☐	ない		☒	ある	☐	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		1	1	3	3	C	1	1	3	3	C		
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等			
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止				
当面の課題	現在、老朽化が進んでおり、利用者も少ない状況です。除却については、多大な費用が必要と考え、今後の課題であります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	民間委託の方法が取れないのであれば、耐用年数が短い方から解体していく必要があります。					公共施設個別管理計画に基づき、利用状況・老朽化等を精査し、今後の方針について検討します。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	7	基本事務事業名	生涯学習(各種講座等)事業	事務事業名	生涯学習(各種講座等)事業	公的関与	8	シート作成日	令和3年6月17日				
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課		主務課長名	伊坂 典恭		シート作成者名	日岡 辰年				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	地域資源と人材を最大限に活用しながら、各年代にふさわしい魅力的で多様な学習講座を提供します。										
				今年度	地域資源と人材を最大限に活用しながら、各年代にふさわしい魅力的で多様な学習講座を提供します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 講座を企画し、広報誌とあわせて募集チラシを配布するなどして受講生を募集し、講座を開催しています。														
	② 市の各種団体に依頼するなどして、講師を確保しています。														
	③ 受講生にアンケートを実施して、市民ニーズを把握し、次年度の講座を企画する際に活用しています。														
	④ 親子で参加できる講座や外国語講座など、多種多様な講座となるよう企画しています。														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標					
	講座受講者数		住民ニーズの指標として		人	目標	2,279	2,154	1,704	1,704					
						実績	1,603	1,031							
	その他(講座以外)来場者数		住民ニーズの指標として		人	目標	2,120	2,500	1,500	1,500					
						実績	2,005	0							
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費	
			令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったものもあり、補助金は一部返還となりました。				
		県支出金			千円			千円							
		地方債			千円			千円							
		その他特定財源			千円			千円							
		一般財源	1,800		千円	623		千円	1,800		千円				
		計(A)	1,800		千円	623		千円	1,800		千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500	人	3,019	千円	0.500	人	3,059	千円	0.500	人	3,044	千円	
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費			人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円		
全体事業費(A+B)				4,819	千円			3,682	千円			4,844	千円		

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	生涯学習講座に対する市民のニーズは高く、市民の自発的な学びのきっかけづくりとして必要です。	☐	少ない	☒	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒	ある	☐	ない		☒	ある	☐	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	市民のニーズや講座の継続年数を考慮して、講座を入れ替えながら開催しています。	☐	いえない	☒	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	講座の定員数に達していないものもありますが、ほとんどの講座で目標を達成できています。	☐	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☒	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☐	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	経費を抑えながらも、多くの方に受講してもらえるような講座を企画しています。	☐	高い	☒	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒	できる	☐	できない		☒	できる	☐	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		3	4	3	3	A	3	4	3	3	A		
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等			
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止				
当面の課題	新規受講者が少なく、また20～40歳代や男性の受講率が低いのが課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	受講者のニーズを把握するため、アンケートを実施します。また、次年度の講座を計画するときには、幅広く情報収集して性別・年齢を問わず、市民に興味をもってもらえる講座を企画します。					幅広い年代層の参加となるよう、また新規受講者の増加が進むよう、アンケート等を参考に、多様で興味深い講座の企画に努めます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	—	8	基本事務事業名	青少年健全育成市民会議事業	事務事業名	青少年健全育成市民会議事業	公的関与	8	シート作成日	令和3年6月17日			
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課		主務課長名	伊坂 典恭		シート作成者名	日岡 辰年				
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(6) 青少年の健全育成				☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(1) 健全育成体制の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内の青少年											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	時代を担う青少年の健全育成・非行防止等を図る事を目的としています。										
				今年度	青少年健全育成市民会議総会の決議に基づき、学校補助事業・講演会事業・体験事業・啓発事業を実施します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 青少年健全育成の啓発活動の推進や、自然体験講座の実施をはじめとする青少年の健全育成に向けた各種の事業を行います。														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標					
			事業が多岐にわたるため			目標									
						実績									
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考								
		国庫支出金		千円	千円	千円	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったものもあり、補助金は一部返還となりました。								
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		千円	千円	千円									
		一般財源		1,300 千円	1,038 千円	1,300 千円									
	計(A)		1,300 千円	1,038 千円	1,300 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.250 人	1,509 千円	0.250 人	1,529 千円	0.250 人	1,522 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)		2,809 千円		2,567 千円		2,822 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	阿波市の次世代を担う青少年の健全育成にとって必要な事業です。	☐	少ない	☒	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえ	☒	い	各小・中学校において、それぞれの特色を生かした育成事業を実施しています。	☐	いえ	☒	い			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえ	☒	い		☐	いえ	☒	い			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	概ね達成できています。	☐	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☐	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☒	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	警察・青少年育成センター・小・中学校等、関係機関と連携を取りながら社会環境に対応した事業を行っていきます。	☐	高い	☒	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等			
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止				
当面の課題	めまぐるしく変わる社会や情報、多種多様な犯罪が起こる中、青少年の健全育成を図るためにいかに有効な事業を展開していけるかが課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	青少年の興味が湧くような内容を考え、かつ効果的な事業を企画します。					関係機関と連携しながら、ニーズに応じた事業内容を検討し、今後も取り組みを継続します。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	9	基本事務事業名	成人式事務	事務事業名	成人式事務	公的関与	8	シート作成日	令和3年6月18日	
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課	主務課長名	伊坂 典恭	シート作成者名	日岡 辰年			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業	☐ 3 経常的事務事業	☐ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		☐ 1 直営	☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業	☐ 4 施設の維持管理	☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託	☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	3. 人が輝き合う阿波		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(6) 青少年の健全育成		☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策	(2) 健全な社会環境づくりの推進		☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市内に住民票を有する成人式該当者及び市外に住民票を有する阿波市成人式への出席希望者									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	新成人を市を挙げて祝い、多くの成人式該当者が新成人としての自覚と責任を認識し、社会生活を営めるようにします。								
			今年度	新成人で成人式実行委員会を組織し、式典の企画・運営をするよう協力・支援をします。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 成人式該当者への通知をします。											
	② 新成人で成人式実行委員会を組織し、式典の企画・運営について協議します。											
	③ 式典に関する準備をします。											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
	成人式出席者数				人	目標	310	330	330			
						実績	286	0				
						目標						
						実績						
						目標						
実績												
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	10 教育費	項	5 社会教育課	目	1 社会教育総務費		
	直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算		備考				
		国庫支出金		千円	千円	千円		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。				
		県支出金		千円	千円	千円						
		地方債		千円	千円	千円						
		その他特定財源		千円	千円	千円						
		一般財源	1,086	千円	1,024	千円	千円					
	計(A)	1,086	千円	1,024	千円	2,095 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,509 千円	0.250 人	1,529 千円	0.250 人	1,522 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		2,595 千円		2,553 千円		3,617 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価								
KGMIC	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	新成人としての自覚と責任を認識し、社会人への門出として式典は必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい									
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある									
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない									
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない									
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	新成人で成人式実行委員会を組織して、企画内容・運営方法等について検討し実施しています。	☐ いえない	☒ いえる									
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる									
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない									
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる									
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	式典に参加することにより、社会人としての自覚を認識するため、成人式の開催については意義があります。	☐ 目標に比べて劣っている											
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない											
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している											
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☐ 十分達成している		☐ 十分達成している											
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	新成人による実行委員会を実施しているが、自主的に参加する成人が少ないです。	☐ 高い	☒ 適当									
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない									
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない									
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない									
ACTION	一次評価										二次評価									
	評価点	必要性		有効性		達成度		効率性		総合評価		必要性	有効性		達成度		効率性		総合評価	
		3		4		3		4		A		3	4		3		4		A	
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持		☐ 方法改善		☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実		☒ 現状維持		☐ 方法改善		☐ 民間委託等				
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止				☐ 縮小		☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止						
	当面の課題	新成人による成人式実行委員会を組織しているが、例年自主的な立候補者がほとんどいません。実行委員を確保するのかが検討する必要があります。										二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	自主的な運営ができる体制を確保するため、新成人に対する周知方法を検討し、積極的な自主参加が得られるよう努めていきます。										今後も自主運営ができるよう支援し、多くの参加者が得られるよう努めます。									
委員会指摘事項																				

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	-	10	基本事務事業名	芸術・文化振興事業	事務事業名	芸術・文化振興事業	公的関与	2	シート作成日	令和3年6月18日			
	部局名	教育委員会			課名	社会教育課		主務課長名	伊坂 典恭		シート作成者名	村尾 茉優			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(5)文化芸術の振興				☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(1)文化団体、指導者の育成				☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民・阿波市文化協会会員											
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	阿波市の芸術・文化の振興を図ります。											
			今年度	市内文化・芸術団体の中心となる活動組織である阿波市文化協会の活動や市文化祭の開催を支援し、芸術・文化の振興を図ります。文化協会会員を講師とする生涯学習講座を開催します。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 市民全体の活動を活性化するため、文化協会を中心とした各団体の活動を支援します。														
	② 市文化祭など文化協会との共催事業を実施することにより、より多くの市民に文化芸術鑑賞や発表機会を作ります。														
	③ 文化協会加入団体等の文化・芸術団体会員を講師とする生涯学習講座を開催することにより、指導者の育成を図ります。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標					
	文化協会加入団体等の文化・芸術団体会員を講師とする生涯学習		講座数		講座	目標	4	4	4	4					
						実績	4	3							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考								
		国庫支出金		千円	千円	千円	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったものもあり、補助金は一部返還となりました。								
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		千円	千円	千円									
		一般財源		1,620 千円	318 千円	1,620 千円									
	計(A)		1,620 千円	318 千円	1,620 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人	604 千円	0.100 人	612 千円	0.100 人	609 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)		2,224 千円		930 千円		2,229 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	文化団体や指導者育成のため、市内文化・芸術団体の中心的な活動組織である文化協会への補助金は必要です。	☐	少ない	☒	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	市文化祭の開催や文化協会会員による生涯学習講座の講師など、市民の文化・芸術活動の活性化や指導育成に寄与しているため、今後も成果が期待できます。	☐	いえない	☒	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☒	する	☐	しない		☒	する	☐	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	市文化協会を中心に、活発に文化・芸術活動が行われています。	☐	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☒	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☐	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	補助金を活用して活動しています。	☐	高い	☒	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等				
	当面の課題	文化行事の充実を図るとともに、団体の主体性を低下させることのないよう、協力関係を構築し、文化・芸術活動を支援していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	引き続き文化協会との共催事業を実施します。また、文化協会会員等の文化・芸術団体を講師とする生涯学習講座数を増やせるかどうか検討します。					主体的な取り組みとなるよう各種団体とも連携しながら、文化の向上にむけ、事業の推進に努めます。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	11	基本事務事業名	阿波シティマラソン事業	事務事業名	阿波シティマラソン事業	公的関与	8	シート作成日	令和3年6月25日		
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課	主務課長名	伊坂典恭		シート作成者名	柏木咲良			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託		
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4)スポーツの振興			☐ 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策		(4)幅広いスポーツ活動の普及促進			☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内外のマラソン愛好家									
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	マラソンを通して健康増進と世代間交流を兼ね備えたスポーツイベントとして普及促進に努めます。								
				今年度	元オリンピック選手や実業団選手を招待し、ハーフマラソンほか各部門別コースにより、阿波市役所を発着点として高低差150mの全国でも珍しい起伏の激しいコースを採用して実施します。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、実施方法や人数制限などを検討し、ランナーが安全・安心に参加できるよう努めます。								
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① マラソン大会要項の決定												
	② 道路使用許可申請に関すること												
	③ 参加者募集及び参加申込書の受付												
	④ 大会役員及び従事者の連絡調整												
	⑤ 部門別表彰式及び完走証の付与												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標				
	参加者数		部門別参加者数での開催		人	目標 1000	1000	1000	1000				
						実績 0	0						
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	1 保健体育総務費		
			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金			千円	千円	千円	●令和元年度					
		県支出金			千円	千円	千円	1,063人の申込みがありましたが、					
		地方債			千円	千円	千円	新型コロナウイルス感染症の影響					
		その他特定財源			千円	千円	千円	により、中止を決定しました。					
		一般財源	7,772 千円		0 千円	12,005 千円	●令和2年度						
	計(A)	7,772 千円		0 千円	12,005 千円	新型コロナウイルスの影響によ							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.313 人	1,890 千円	0.313 人	1,915 千円	0.313 人	1,906 千円	り、9月に中止を決定し、申込み等				
		臨時・嘱託職種							も行っていない。				
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		9,662 千円		1,915 千円	13,911 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	総合計画に掲げるスポーツ振興を推進するために、子どもから高齢者まで幅広く市民が参加できるスポーツイベントとして位置づけられています。	☐	少ない	☒	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒	ある	☐	ない		☒	ある	☐	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	市民参加型のスポーツイベントとして定着することで、市民がスポーツ活動を通して主体的な健康づくりに取り組める他、市内外からランナーが参加することから、観光分野と連携することで、まちの活性化を図ることができます。	☐	いえない	☒	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	参加者は、マラソンブームやとくしまマラソンの影響、健康志向の高まりに伴い、増加傾向にあります。(令和元年度以降は新型コロナウイルス感染拡大のため中止)	☒	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☒	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☐	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	全国的なマラソンブームやスポーツ振興の観点から、今後も継続して実施することが有効であるため、実施方法の見直しや経費の削減についても適宜見直す必要があります。	☒	高い	☐	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒	できる	☐	できない		☒	できる	☐	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		3	4	3	3	A	3	4	1	2	B		
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☐ 現状維持	☒ 方法改善	☐ 民間委託等			
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止				
当面の課題	市民のマラソン大会への参加やボランティアスタッフとしての参加を促すなど、阿波市全体で作り上げるイベントとして、広報活動を推進する必要があります。阿波スマートインターチェンジの工事着工等に伴い、距離やコースを見直す必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	事業を継続するためには、他の実施団体のノウハウなどを活用するなどの費用対効果を精査する必要があります。					市民の参加増となるようイベントの周知方法やコースの見直し、費用対効果の精査を行い、新たな阿波シティマラソンに向けて検討します。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	12	基本事業名	ジュニア駅伝事業	事業名	ジュニア駅伝事業	公的関与	8	シート作成日	令和3年6月25日		
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課	主務課長名	伊坂典恭		シート作成者名	柏木咲良			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託		
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4)スポーツの振興			☒ 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策		(4)幅広いスポーツ活動の普及促進			☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市スポーツ少年団団員									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	青少年の健全育成・スポーツ振興・団員間交流を目的とします。								
				今年度	できるだけ多くの少年団に参加してもらえよう、少年団の大会等と重複しない日程調整をし、感染症対策を講じて開催します。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 大会要項の決定												
	② 各少年団との連絡調整												
	③ 大会役員との連絡調整												
	④ 部門別表彰												
	⑤ 大会準備												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標				
	参加チーム数		チーム対抗であるため		チーム	目標	35	35	35	35			
						実績	28	0					
						目標							
						実績							
						目標							
DO	予算費目	会 計		款 10 教育費		項 6 保健体育費		目 1 保健体育総務費					
			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。						
		県支出金		千円	千円	千円							
		地方債		千円	千円	千円							
		その他特定財源		千円	千円	千円							
		一般財源		184 千円	0 千円	222 千円							
		計(A)		184 千円	0 千円	222 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.125 人	755 千円	0.125 人	765 千円	0.125 人	761 千円				
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		939 千円		765 千円		983 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	ジュニア駅伝を通して、青少年の健全育成やスポーツ振興の他、スポーツ少年団所属の小学生が他の小学校児童、競技間を超えた親睦が図れるため、市民の交流の場として有効です。	☐	少ない	☒	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	市内のスポーツ少年団が集うため、小学生間の交流を図ることができ、なおかつ駅伝を通してスポーツ振興、体力向上につながるため、目標達成には有効です。	☐	いえない	☒	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	できるだけ多くの少年団が参加できるよう、少年団の大会等と重複しない日程調整をする必要があります。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となりましたが、参加チーム数は令和元年度まで増加傾向で、概ね達成しています。	☐	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☒	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☐	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	効率よく実施できています。	☐	高い	☒	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等			
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止				
当面の課題	多くの少年団が参加できるような日程調整をし、ジュニア駅伝を通じて、普段あまり交流のない学校や競技間での連携・親睦を図ることを目標とします。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	必要となるスキル等の講習を開催し、各団の団員・指導者の育成を図ります。					より多くの子供たちが参加できるよう、更なる事業効果を目指します。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	基本事務事業名	徳島駅伝事務	事務事業名	徳島駅伝事務	公的関与	8	シート作成日	令和3年6月25日				
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課	主務課長名	伊坂典恭		シート作成者名	柏木咲良				
	事業区分	☒ 1 ソフト事業	☐ 3 経常的事務事業	☐ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		☒ 1 直営	☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業	☐ 4 施設の維持管理	☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託	☒ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)	3. 人が輝き合う阿波			実施計画	事業の開始・終了							
		基本計画(施策)	(4)スポーツの振興			☒ 1 該当	平成 17 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし					
		主要施策	(4)幅広いスポーツ活動の普及促進			☐ 2 非該当	根拠法令等							
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	徳島駅伝阿波市選手団及び役員											
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	徳島駅伝を通じて、県下の陸上競技の普及と発展を図り、競技者が正しい訓練を重ね、技術を磨くことで、健康な身体と健全な精神の育成を支援し、社会に貢献できる人材育成を目的とします。										
			今年度	前回までの大会結果を踏まえ、阿波市陸上競技協会と共に競技者の底辺拡大と競技者数の増加、競技力の向上に努めます。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 徳島駅伝競技運営の連絡調整													
	② 阿波市選手団練習会及び選手選考会の開催													
	③ 阿波市選手団本部の設置													
	④ 徳島駅伝中継所役員の連絡調整													
	⑤ 結団式及び解団式													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標						
		目標設定及び達成度を測ることはできません。		目標										
				実績										
				目標										
				実績										
				目標										
			実績											
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	1 保健体育総務費				
			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、補助金は一部返還となりました。							
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源	4,800	千円	579	千円						4,500	千円	
		計(A)	4,800	千円	579	千円						4,500	千円	
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500	人	3,019	千円	0.500	人	3,059	千円	0.500	人	3,044	千円
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費			人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円	
全体事業費(A+B)			7,819	千円			3,638	千円				7,544	千円	

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	徳島県郡市対抗駅伝であり、新春の県下恒例イベントです。毎年参加することにより、競技者・指導者の増加や育成、競技力の向上を図り、郷土愛と住民の連帯感を高めることを目指します。	☐	少ない	☒	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	駅伝を通じて、阿波市内の小学生から社会人までの交流や市町村間の交流を図ることができ、さらにスポーツ少年団と連携することで、ジュニアから一貫した育成に有効です。	☐	いえない	☒	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	毎年の積み重ねの成果で成績は少しずつ上がっており、それに伴い市民の関心も高まっています。また、選手は、駅伝を通して挨拶など礼儀や襷をつなぐための責任感など、精神面でも鍛えられています。	☐	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐	概ね達成している		☒	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒	十分達成している		☐	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	チーム力強化のため、選手・指導者の確保や育成は不可欠であり、充実した支援や運営体制が必要な一方、宿泊費削減などの見直しを行える余地があるものは検討し、コスト削減に努めます。	☒	高い	☐	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒	ある	☐	ない		☒	ある	☐	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	4	3	A	4	4	3	2	B			
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等				
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止					
当面の課題	人材発掘のため、各マラソン大会に出場している選手等を勧誘して競技者を増やしたり、各学校やスポーツ少年団と連携してジュニア期からの一貫した選手育成をすることでより地域に根ざした運営をしていくことが必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	今後の長期的な視野からも、競技人口の拡充を図るために、各小中学校・高等学校と連携し、ジュニアからの段階的・継続的な育成を進めていくことが必要です。					小中高の学校と連携し、指導者・選手の育成を継続的に実施します。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	基本事務事業名	スポーツ推進委員会事務	事務事業名	スポーツ推進委員会事務	公的関与	8	シート作成日	令和3年6月25日		
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課		主務課長名	伊坂典恭				
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託	
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(4)スポーツの振興			☒ 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(4)幅広いスポーツ活動の普及促進			☐ 2 非該当		根拠法令等			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		運動・スポーツに興味、関心のある市民								
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	「市民ひとり1スポーツ」を目指し、地域スポーツの振興と定期的なスポーツの実施率の向上を目的とします。							
				今年度	市民の生涯スポーツの普及・振興を図ることを目的とします。							
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 各研修会への参加											
	② ニュースポーツ・レクリエーション教室の開催											
	③ 広報活動											
	④ スポーツ推進委員の派遣											
	⑤ 定例会の開催											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
	定例会等活動回数		活動数		回	目標	40	40	40	40		
						実績	18	7				
						目標						
						実績						
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	1 保健体育総務費	
			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円					
		県支出金	千円		千円		千円					
		地方債	千円		千円		千円					
		その他特定財源	千円		千円		千円					
		一般財源	1,910 千円		1,506 千円		2,916 千円					
		計(A)	1,910 千円		1,506 千円		2,916 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,509 千円	0.250 人	1,529 千円	0.250 人	1,522 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		3,419 千円		3,035 千円		4,438 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	ニュースポーツを中心とした生涯スポーツの普及振興のためにスポーツ推進委員は重要な存在です。	☐	少ない	☒	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	任意団体や小学校、障がい者支援施設などの依頼に応じ、ニュースポーツ・レクリエーション活動など、子どもから大人まで楽しめる活動の普及に努めています。	☐	いえない	☒	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動回数は減少となりましたが、感染症対策を行いながら、定例会やニュースポーツの普及活動を行いました。	☐	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☒	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☐	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☐	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	効率よく活動できています。	☐	高い	☒	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒	できる	☐	できない		☐	できる	☒	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	3	A	4	4	2	4	A			
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等				
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止					
当面の課題	スポーツ推進委員の世代交代を図るとともに、より多くの市民の参加が得られるスポーツの振興・普及活動により一層努める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	スポーツ推進委員の資質向上を進めるとともに、地域スポーツ団体や学校体育振興に対して、委員の活動を幅広くPRすることで、スポーツ・レクリエーション活動に参加する機会を増やします。					生涯スポーツに対する意識の向上、市民の健康増進に繋がるスポーツの振興や普及活動に努めます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	15	基本事務事業名	総合型地域スポーツクラブ活動補助事業	事務事業名	総合型地域スポーツクラブ活動補助事業	公的関与	8	シート作成日	令和3年6月25日			
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課		主務課長名	伊坂典恭		シート作成者名	柏木咲良			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4)スポーツの振興				☒ 1 該当		平成 17 年 ~		令和 年 ☒ 期間設定なし		
		主要施策		(4)幅広いスポーツ活動の普及促進				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		スポーツクラブ会員										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	子どもから高齢者まで、あらゆる世代の楽しいクラブライフの創造を目指し、地域コミュニティの核として、スポーツ及び文化的活動を通し、地域住民の健康づくり・地域社会の活性化・青少年の健全育成に寄与することを目的とします。									
				今年度	事業活動の見直しや会員が主体的に企画運営できるクラブづくりが図れるよう指導します。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① スポーツ・レクリエーション教室等の開催													
	② スポーツ・レクリエーション大会の開催													
	③ 理事会・総会の開催													
	④ 広報活動													
	⑤ スポーツ体験会の開催													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標				
	総合型地域スポーツクラブ会 員数		会員数		人		目標	350	350	350	350			
							実績	252	233					
							目標							
							実績							
							目標							
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源	1,500		千円	1,500		千円	1,500		千円			
		計(A)	1,500		千円	1,500		千円	1,500		千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250	人	1,509	千円	0.250	人	1,529	千円	0.250	人	1,522	千円
		臨時・嘱託職種	総合型SCコーディネーター			総合型SCコーディネーター			総合型SCコーディネーター					
臨時・嘱託工数・経費		0.250	人	480	千円	0.250	人	487	千円	0.250	人	518	千円	
全体事業費(A+B)		3,489		千円	3,517		千円	3,540		千円				

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
KGMIC	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	文部科学省が中学校単位にスポーツクラブ1団体の設立を推進する事業です。		☐ 少ない	☒ 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある			☐ ない	☒ ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない			☐ いる	☒ いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	市民の日々の健康づくりはもとより、地域コミュニティの核として交流・仲間づくりの場となっており、地域活性化に有効です。		☐ いえない	☒ いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる			☐ いえない	☒ いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない			☐ する	☒ しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる			☐ できない	☒ できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	現在、吉野・土成・阿波中学校区にそれぞれスポーツクラブを設立し、運営しています。阿波市民に幅広く活用されるよう、今後も推進する必要があります。		☐ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない			☐ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☒ 概ね達成している			☒ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☐ 十分達成している			☐ 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	補助金に対する費用対効果を精査し、効果的な事業を実施していく必要があります。		☐ 高い	☒ 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☒ できる	☐ できない			☒ できる	☐ できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☒ ある	☐ ない			☒ ある	☐ ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	2	B	4	4	3	2	B	
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	各スポーツクラブが地域の実情に即した事業の企画・運営に努めているが、まだまだ地域の方々に浸透していません。クラブ会員の増加や事業を拡大していくために、広報活動や日程調整等、改善する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	各スポーツクラブが地域コミュニティの核として、地域住民の健康づくり・地域社会の活性化・青少年の健全育成に寄与するためには、スポーツクラブ間及び地域の既存スポーツ団体等と連携するとともに、地域の実情を加味したうえでクラブの方向性を決め、事業を推進していきます。					自立運営を行っていくためには、会員数の確保が重要であり、広く市民への周知に努めます。						
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	16	基本事務事業名	阿波市スポーツ協会事務	事務事業名	阿波市スポーツ協会事務	公的関与	8	シート作成日	令和3年6月25日			
	部局名	教育委員会			課名	社会教育課	主務課長名	伊坂典恭		シート作成者名	柏木咲良			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)			3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)			(4)スポーツの振興			☒ 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策			(4)幅広いスポーツ活動の普及促進			☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市スポーツ協会会員(阿波市で活動するスポーツ団体)										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	阿波市におけるスポーツ振興活動を図り、市民の心身の健全な発達と健康の増進、体力、競技力の向上を目指すとともに、明るく豊かなまちづくりに寄与することを目的とします。										
			今年度	スポーツ少年団から社会人チームまで幅広く選手と指導者の育成に努めるとともに、加盟団体の増加を目指します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各競技団体の選手の育成													
	② 各競技団体の指導者の育成													
	③ 各スポーツ教室													
	④ 総会・理事会の開催													
	⑤ スポーツ団体の加盟促進													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標				
	スポーツ協会会員数		会員数		人		目標 3500	3500	3500	3500				
							実績 2263	2177						
							目標							
							実績							
							目標							
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算		備考						
		国庫支出金		千円	千円	千円		※令和2年度に「阿波市体育協会」から「阿波市スポーツ協会」に改名						
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円								
		計(A)		3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.250 人	1,509 千円	0.250 人	1,529 千円	0.250 人	1,522 千円					
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		4,509 千円		4,529 千円		4,522 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	総合計画に掲げるスポーツ振興のための市民スポーツの中心的な活動組織であり、補助金の交付は妥当です。	☐	少ない	☒	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	全市民対象の各種スポーツ大会などスポーツ協会の活動は直接市民の健康増進につながるもので有効です。	☐	いえない	☒	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☒	いえない	☐	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	概ね達成していますが、各種イベントや広報活動などの市民全体に向けた普及活動を行っていく必要があります。	☐	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☒	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☐	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	13団体の構成で活動しており、実施手段を見直す余地もありますが、効率的に補助を活用しています。	☐	高い	☒	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒	できる	☐	できない		☐	できる	☒	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等				
	当面の課題	スポーツに参加する人を増やすために、スポーツに参加を促すような事業を企画する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	それぞれの競技団体が企画立案し、自主運営し、阿波市の体育振興につなげる効果的な事業の実践に努めていくよう指導していきます。					各団体の企画立案及び自主運営を促し、効果的な事業の実践に繋げるよう指導します。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	17	基本事務事業名	文化財保護事業	事務事業名	文化財保護事業	公的関与	1	シート作成日	令和3年6月24日		
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課	主務課長名	伊坂 典恭	シート作成者名	林 泰治				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業	☒ 3 経常的事務事業	☐ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		☒ 1 直営	☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業	☐ 4 施設の維持管理	☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	3. 人が輝き合う阿波			実施計画	事業の開始・終了						
		基本計画(施策)	(5)文化芸術の振興			☒ 1 該当	平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし	
		主要施策	(3)文化財の保存・活用			☐ 2 非該当	根拠法令等	文化財保護法、文化財の保護に関する条例、阿波市文化財保護条例					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	文化財保護法第2条及び第182条第2項並びに第6章に規定される文化財 (国・県・市指定文化財・埋蔵文化財)										
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	文化財を将来の文化の向上発展の基礎をなすものと位置づけ、保護保存を適切に行うとともにその活用を通じて市民の文化的向上を図っていきます。									
			今年度	市内の未指定文化財について調査研究及び指定を行います。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 国・県・市指定文化財のうち、阿波市が管理義務を負う12件の指定文化財の維持管理												
	② ①以外の国・県・市指定文化財において、所有者・管理者が行う保存修理及び活用事業に対する補助助成												
	③ 市内の未指定文化財の調査研究及び、新たな文化財指定												
	④ 秋月歴史公園(市指定史跡 阿波安国寺跡推定地)の維持管理												
	⑤ 文化財保護事業に関する諸庶務(開発事業に伴う埋蔵文化財保護対応など)												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標					
	市指定文化財数	市指定文化財数		件	目標	53	53	54	56				
					実績	51	51						
	阿波の土柱保存管理	定点撮影回数		回	目標	6	6	6	6				
					実績	6	6						
	公共事業における埋蔵文化財包蔵地照会数	指標設定になじまないため設定しない			目標								
		実績	4		3								
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	文化振興費
	直接事業費	令和 元 年度決算		令和 2 年度決算		令和 3 年度予算		備考					
		国庫支出金	千円		千円		千円		No.34-19文化財保護(埋文保護調査)事業を統合しました。				
		県支出金	145 千円		千円		145 千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	3,751 千円		4,031 千円		3,507 千円						
		計(A)	3,896 千円		4,031 千円		3,652 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,019 千円	0.500 人	3,059 千円	0.500 人	3,044 千円					
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		6,915 千円		7,090 千円		6,696 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	保護保存については、文化財保護法第3条において地方公共団体の任務と位置づけられています。	☐	少ない	☒	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	現段階では活用事業実施数が少ないため有効性を判断できませんが、活発な活用事業を実施することによって効果は期待できます。	☐	いえない	☒	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	活用事業の展開が不十分な部分もあり、今以上の事業活性化により十分な期待値が得られるものと考えています。	☐	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐	概ね達成している		☐	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒	十分達成している		☒	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	効率的に維持管理や保護保存はできています。	☐	高い	☒	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A			
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等				
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止					
当面の課題	全般的課題として、文化財保護は地方公共団体の任務として法第3条で位置づけていることから、予算措置や専門職員の採用などを含めさらに保護体制の拡大充実を行う必要があると考えています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	市民の文化的向上を目的とした文化財活用事業として、史跡探索会や市民を対象とした研究会などのソフト事業の活性化、また、市内に豊富にある文化財資源の有効利用として、史跡整備事業などのハード事業の展開も行っていきます。					関係機関と連携し、維持管理に努めます。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

PLAN	No.	34	18	基本事務事業名	文化財保護(啓発)事業	事務事業名	歴史館・資料館事業	公的関与	1	シート作成日	令和3年6月24日			
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課	主務課長名	伊坂 典恭	シート作成者名	林 泰治					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業	☒ 3 経常的事務事業	☐ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		☒ 1 直営	☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業	☐ 4 施設の維持管理	☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)	3. 人が輝き合う阿波			実施計画	事業の開始・終了							
		基本計画(施策)	(5)文化芸術の振興			☒ 1 該当	平成 年 ~ 令和 年	☒ 期間設定なし						
		主要施策	(4)歴史館等の整備充実・有効利用			☐ 2 非該当	根拠法令等	阿波市立歴史館設置及び管理に関する条例、阿波市立歴史館管理運営規則						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	阿波市の歴史・民俗資料などを収集・保存・展示及び資料に関する調査・研究を行う中核施設として位置づけ、活発な普及啓発やイベント事業を実施し、市民の文化的向上を図っていきます。										
			今年度	入館者増に繋がる企画展やイベントなどの事業に取り組みます。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 歴史・民俗資料などを収集・保存・展示													
	② 歴史・民俗資料などの調査・研究													
	③ 特別展・企画展や歴史講座・シンポジウムなどの各種イベント事業													
	④ 常設展示の充実(展示替え等)													
	⑤ 施設の修繕(一部エアコン改修)													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標					
	土成歴史館入館者数	展示入館者数	人	目標	1500	1500	1500	2000						
				実績	298	224								
	市場歴史民俗資料館入館者数	展示入館者数	人	目標	2000	2000	2000	3000						
				実績	189	179								
				目標										
			実績											
DO	予算費目	会計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	6	歴史館費
	直接事業費	令和元年度決算		令和2年度決算		令和3年度予算		備考						
		国庫支出金	千円		千円		千円		*値目標に掲げた展示入館者数は、合併以前の平均入館者数を設定しました。 土成歴史館 =年間約2千人前後 市場歴史民俗資料館=年間約3千人前後					
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	226 千円		5,200 千円		130 千円		*令和2年度 教育施設整備基金繰入金 5,000千円 1階エアコン改修					
		一般財源	6,154 千円		5,823 千円		5,207 千円							
	計(A)	6,380 千円		11,023 千円		5,337 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	604 千円	0.100 人	612 千円	0.100 人	609 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		6,984 千円		11,635 千円		5,946 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐	少ない	☒	大きい	施設管理の維持管理に努めます。	☐	少ない	☒	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐	ない	☒	ある		☐	ない	☒	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒	ある	☐	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐	いる	☒	いない		☐	いる	☒	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐	いえない	☒	いえる	歴史・民俗資料などの保存と展示に努め、公共施設等総合管理計画に基づいた計画的な施設管理を行います。	☐	いえない	☒	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐	いえない	☒	いえる		☐	いえない	☒	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐	する	☒	しない		☐	する	☒	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐	できない	☒	できる		☐	できない	☒	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐	目標に比べて劣っている	文化財への興味関心が持てるような企画展やイベントなどの事業を展開し、入館者増に努めます。	☐	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐	あまり上がっていない		☐	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒	概ね達成している		☐	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐	十分達成している		☒	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐	高い	☒	適当	入館者増に繋がる企画展やイベントなどの事業展開に努めます。	☐	高い	☒	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐	できる	☒	できない		☐	できる	☒	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒	ある	☐	ない		☐	ある	☒	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐	ある	☒	ない		☐	ある	☒	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		3	4	3	3	A	4	4	4	4	A			
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☒ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等				
	当面の課題	歴史・民俗資料などの収集・保存・展示及び資料に関する調査・研究と幅広い業務があるため、専門的なノウハウをもつ業者への委託の検討、活発な普及啓発やイベント事業の展開により市民の文化的向上を図ります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	文化財への興味関心が持てるよう、イベント事業を実施し入館者が増えるよう努めます。					入館者増に繋がる企画展などのイベントの開催やPR方法、展示方法の工夫に努めます。								
委員会指摘事項														